NANBU

教育目標
「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

学校だより第９号
氷見市立南部中学校
令和２年１月15日

３学期の始まりに当たって

校長　扇谷　孝代

１月８日（水)、氷見市立南部中学校の３学期がスタートしました。
３学期はとても短いですが、いよいよ見え始めてきた来年度につながる大切な時期となります。どの生徒にとってもますます自らの力を伸ばす、飛躍の学期となってほしいという願いを込めて、始業式の式辞を述べました。

今年の冬休みは殊の外温かく、過ごしやすい日が続きました。寒くなくていいとか、洗濯物が乾いていいとか、よいことずくめのようにも思われますが、どっこい、そう都合よいことばかりとはいきません。雪不足というと、次に心配されるのは夏の水不足です。本来あるべきものがないと、どこかでつじつまが合わなくなります。壮大な自然の話ですが、我々人間にも当てはまる部分があると感じます。その時その時、すべきことを怠ると、結局はいずれ、自分に返ってくるのです。

中学生の時期に、皆さんがすべきことは何でしょうか。

私は４月、入学式の折、「中学生期は、心と体の発達が著しく、生涯にわたって人間として成長するための大切な時期です」と話しました。皆さんはきっと、これまでも、心と身体を鍛えながら、将来飛び込んでいく社会でたくましく生き抜いていくための力を着々と身に付けていることと思います。

では、この３学期は、どんな時期なのでしょうか。

３年生は、いよいよ中学校卒業後の自分の進路と直接対峙する時期。２年生は、そんな３年生の姿に１年後、自分がなると決意を新たにしなければならない時期。そして１年生は、先輩という存在になる責任を自覚しなければならない時期です。

そんな皆さんに、私が高校１年生のときに聞いた校長先生からのお話をしたいと思います。私が言うのも何ですが、実のところ、小、中、高校と校長先生のお話を聞いてきましたが、ほとんど記憶に残っていません。ただ、この話だけは、妙に印象に残っているのです。その年に定年退職されることになっていた、八十島先生という国語の先生の、勉強についての話でした。

「例えば一夜漬けは、バケツの水に似ている。バケツにジャーッと水を汲んで、テストでそれをひっくり返すようなものだ。ほとんど残らない。だが、バケツの底には何滴かの水が残る。それだって君たちの力になっていくのだ。力を伸ばしていくためには、日々のたゆまぬ努力が必要。もちろんそうであることは間違いない。しかし、「もう遅い」といってあきらめることが一番よくない。どんなやり方であっても、やらないよりはやった方がいい。とにかく、何でもいいからやりなさい。」

というような話でした。これを聞いて妙にうれしくなりました。というのも、当時の私は、結構一夜漬けに頼っていた教科が多かったからです。「一夜漬けだって何らかの力は付く。よし、頑張るぞ！」ちょっと方向は、ずれているかもしれませんが、その後、テスト前の勉強により一層前向きに取り組むようになったのは事実です。

３学期、３年生が登校するのは45日ほど、１、２年生は50日ほどです。短い期間ですが、まだまだは自分の力を伸ばすことができると思います。３年生は中学校卒業後の自分を、１、２年生は、一学年ずつ進級した来年度の自分の姿をイメージしながら、ますます諸々のことに本気で取り組んでください。

今学期も皆さんが、生き生きと学び、活躍することを期待しています。

栄光の記録

○とやま科学オリンピック2019　銀賞　　追分　優成
　　銅賞　　追分　駿成　　石垣　翔一朗
○第63回富山県児童生徒思考大会　優秀賞　　追分　優成　　髙木　千華　　菊地　玲娃

校内書初大会結果　（◎の生徒は県書初大会に参加します）

賞＼学年	１　年	２　年	３　年
金賞	池田　陽香　◎釣岡　悠也 名苗　和花　前　優花	菊地　玲娃　◎菊地　晄生	西川　楓華　◎越田　恵太 細川　琴乃　久津呂奈々 齊藤　壮佑
銀賞	東海　璃子　細川　詩乃 山岸　通世　西川　那波 矢田部海衣	大石　実桜　海棠　勇人 片田　成哉　大橋　楓子	追分　優成　藤賀　飛生 山内　萌子　池田　覚 池永　蘭　江幡　風胡 長澤　柚姫

校内百人一首大会

１月10日（金）６限目、全校生徒がアリーナに集まり、文化委員会主催の校内百人一首大会が行われました。

詠み手は三國、米田両先生と校長が務めました。

冬休みの勉強の成果でしょうか。結構多くの生徒が、上の句を聞いただけで札を取っていました。日本の伝統文化に触れるよい機会になったと思います。

学校からのお知らせとお願い

○松本教諭の復帰に係る教科担当・学級担任教員の変更について

富山大学に内地留学していた松本富昭教諭が昨年末12月25日に復帰し、代員として勤務してあられた大野恭市先生が本校を去られました。大野先生は、主に理科の授業を担当してくださいましたが、12月頃からは放課後、理科室で質問教室も開いてくださり、３年生の中には連日通っていた生徒もいました。３か月間ではありましたが、生徒にとっては実によい出会いになったのではないかと思います。

３学期、１、２年生及びあおぞら学級の理科の授業につきましては、元のとおり松本教諭が担当します。また、１学年担当につきましては、松本教諭が１年１組担任、学年主任の嶋正史教諭が１年２組担任を務めます。２学期中２組担任を務めた小畑教諭は、副担任となります。

○インフルエンザ感染予防について

２学期末、本校においてインフルエンザの感染拡大がみられ、１年２組が２日間、学級閉鎖となりました。それにより欠課となった授業については、現在、南中タイム等を活用しながら回復措置を図っているところです。

３学期の始業式当日は、罹患者はほとんどいない状態でした。しかし、まだまだ流行期間のまっただ中であり、油断はできません。今後は３学年が受検シーズンに入ることもあり、学校ではより一層インフルエンザ等の感染予防に努めていきたいと考えています。

そこで、ご家庭におかれましても、次のことをご指導くださいますよう、また、ご留意くださいますようお願いいたします。

１　人が集まるところへの外出は、必要なとき以外はできるだけ避けるようにする。
２　うがい・手洗いを励行する。（食事前、トイレ後、帰宅時等）
３　バランスのよい食事に心がけ、体力を付ける。
４　体を冷やさないようにし、早めに就寝する。
５　こまめに部屋の換気をするとともに、乾燥を防ぐ。
６　具合が悪いときは無理に登校せず、早めに受診する。

なお、風邪症状がある場合は、必ず検温してから登校させるようお願いいたします。